

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史
淡河恵津世
西山 佳宏

編集後記

▶ 今月号の特集は「がん診療における IVR の未来」です。「患者にとって何が一番よいか」という観点からは、患者さんの負担がより少ない低侵襲な処置として IVR の役割は今後ますます高まっています。

▶ 診療では、検査で避けられない偽陰性や偽陽性について、脳血流 SPECT での cingulate island score (CIScore) を用いたレビー小体型認知症 (DLB) とアルツハイマー型認知症 (AD) の鑑別診断での特徴を調べています (佐藤論文)。高齢者では加齢性に脳全体の血流が低下するため、CIScore の分母となる後頭葉の Z スコアが低くなり、相対的に CIScore は高めにしやすくなります。つまり、DLB では高齢者ほど偽陰性となりやすいようです。一方、軽症の AD では後部帯状回の脳血流は保たれており、CIScore は低く見積もられがちになります。やはり、検査の理解は重要であり、閾値を杓子定規に適用してはいけなことが分かりますね。

▶ 症例では、謎の多い核内封入体病の画像について、貴重な病理学的裏付けがなされています (河野論文)。すなわち、灰白質の海綿状変化 (錐体ニューロンの末端軸索の変性に由来する空胞変化) は、反応性グリオーシスの低下やアストロサイトの修復機能低下により遷延し、拡散強調像での T2 shine through として持続すると考えられるようです。

▶ 情報では、放射線治療における AI の活用例が紹介されています (角谷論文)。1) 腫瘍や危険臓器の輪郭作成、2) 線量分布予測、3) MR 画像からの疑似 CT 画像生成、4) ファントム検証なしの品質管理、5) 予後予測や 6) 計画変更のアダプティブ治療についての検討を通して、医療スタッフが AI の理解や活用へ向けて努力しなければならないことが強調されています。

▶ 今月の症例は典型像に親しむことで明日からの診断に役立ちます。残念ながら、BCG リンパ節炎を確定診断できる特定の病理染色法や画像所見は今のところありませんが、腋窩、鎖骨上や頸部などの特徴的な腫瘍局在や BCG 接種歴の臨床情報が決め手となることは、(画像をもっらとする分野にいても) 臨床医として襟を正して受け止めなければなりません (宮上論文)。

▶ 毎回、同じ思いを開陳して申し訳ございませんが、何度でも記します。投稿や症例を大切に「臨床放射線」は特異な編集方針をもつ稀有な雑誌であり、今後も皆様の活発なご投稿によって一緒に盛り立てていただければと切に願います。

森 壘

「臨床放射線」第 65 巻 第 2 号

2020 年 2 月 10 日発行 (毎月 10 日発行)

定価 (本体 2,600 円 + 税)

年間購読料金 定価 (本体 39,700 円 + 税)

[年間 13 冊 (臨時増刊号を含む) の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600

FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作権者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。